

北 信 越

10月27日
第1号!

ネ ッ ト



新潟県開催〈こしひかりラウンド〉

H24.10.27 (Sat) 新潟会館

記念すべき第1回北信越体育・保健体育ネットワーク研究会が開催されました。県外から6名、新潟県内からは39名の参加をいただき、幼稚園・小・中・高・大学と幅広い立場から熱い意見交換が交わされ、内容の濃い研究会になりました。

1. カレントトピック（鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授）

【学校体育の情報共有について】

我が国の体育における課題は、大学・行政・学校が互いに学び合う関係を確立し、情報の共有をすることである。

【接続を踏まえた体育の構造】

「木を見て森を見ず」では駄目。どんな能力を高めたいかということを見失わないことが重要である。最終的に「経験してきた動き」と「知識」を組み合わせ、目的にあった能力の高め方を子どもが選択していけることが理想である。

その他、【アメリカの体育】・【学校体育の意義】などの興味深いお話をいただきました。



2. 実践事例発表（新潟市立横越小学校 阿部真澄先生・新潟市立白南中学校 小島かおり先生・ 県立新潟中央高等学校 古田裕子先生）

阿部先生からは「ボール運動とかかわりあい」というテーマで、第5学年のフラッグフットボールにおいて、役割分担を促すルールの導入がもたらす思考と動機づけへの効果についての発表がありました。小島先生からは中学校において「誰にでもできる創作ダンスの授業」、古田先生からは高等学校における「創作ダンスの魅力的な指導について」と、話題になっているダンスの指導法について発表があり、「こんな授業なら私もやってみたい・・・!」というような声が会場のあちらこちらから聞こえてきました。



3. グループ協議



カレントトピックや実践事例発表を踏まえ、異校種間で意見交換をおこないました。小学校における表現運動の指導の難しさや、体づくり運動との関わりなど課題山積でした。

校種を越えた連携は今後の大きなテーマであり、今回のような協議を継続していく必要性を改めて感じた貴重な時間でした。

4. その他

今回の開催にあたり、北信越以外から参加いただきました、木原先生（東京）・吉田先生（東京）・西塚先生（山形）。また、学体研及び北海道・東北ネットワーク終了直後にも関わらず、ご指導いただきました佐藤教授には本当に感謝申し上げます。今回の参加者からは、「小学校1～4年生が重要だと感じた」「小～高の種目の接続の部分を変えて考えることができた」など多数の感想をいただきました。次回の北信越ネットワークに反映していきたいと思っております。

〈追伸〉 佐藤教授に連れてきていただきました「もぐら」が情報交換会で大活躍してくれたことを申し添えます。